

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和元年度事業 点検・評価調書

4-IV-5

4-IV-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	民泊や遊休施設活用の推進
節	IV.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	5 遊休施設活用の推進	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡地域振興局企画振興部
事業概要	【事業目的】	○ピーク時の宿泊施設不足への対応として、遊休施設の活用の推進を図る。	
	【事業内容】	○島内の遊休施設の所有者と活用方策について協議・検討を進める。	
R元事業計画と実績	【元年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相川地区佐州館の活用について地元と協議を行い活用方法を協議する。</li> <li>●民間遊休施設についてリストアップを行い宿泊施設として利用できるか活用方法を協議する。</li> </ul>	
	【元年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●佐州おーやり館の活用として、ゴールデンウィークに一般宿泊モニターを募集しアンケート調査を実施した。</li> </ul>	
課題・今後の取組	【課題】	■公施設での宿泊の推進が民業圧迫とならないか、運営形態も含め検討が必要である。	
	【今後の取組】	■今後の方向性について地域住民・民間宿泊施設等と意見交換を実施する必要がある。	
事業評価	【事業の達成度】	◇一般宿泊モニターによるアンケートを実施し、宿泊者及び関係者からの意見を確認できたことからBとする。	
	【事業実施の効果】		
	【総合評価】		

a:進んでいる。高い。  
b:概ね順調。概ね適切。  
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。